

## <報告事項>

# 令和3年度事業報告書

協会は、会員企業の円滑な事業推進のための環境を整えることをモットーに、事務局の運営方法の改善を図りながら、各種研修会・講習会の実施、関係法令等の情報提供、東京都予算・制度改正等に対する知事や政党への要望、建設業界などの各種団体への働きかけなど、組織団体だからこそできる活動・事業を鋭意推進してきた。また協会の実質的な活動を支える8つの委員会、その下の分科会や勉強会、プロジェクトチーム、さらには3つの部会は、コロナ禍でオンラインを活用するなどして、それぞれが設定した課題の解決・目標の実現に向け活発な活動を行ってきた。

以下、主な活動を報告する。

## 1. 適正処理・資源循環推進事業

### (1) 調査研究事業

#### 1) 調査研究

適正処理の推進と循環型社会・デジタル社会の進展に向けた調査研究を行い、東京都などに対し提案・要望を行った。

- ・令和4年度東京都予算要望について、都議会各政党に要望活動を行った（令和3年8月）。東京都知事ヒアリングは文書にて要望を行った（11月1日付）。
- ・東京都廃棄物審議会での「東京都の資源循環及び廃棄物処理に係る施策の方向性」の議論に、鈴木会長が審議会委員として参加した。
- ・東京都のパブリックコメント「東京都の資源循環及び廃棄物処理に係る施策の方向性 中間とりまとめ」に対して、専務理事名で意見を提出した（6月末）。

#### 2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんばい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して提供した。

### (2) 研修事業

#### 1) 一般研修事業

上智大学法科大学院からの依頼を受けて、セミナーで「プラスチック資源循環への廃棄物処理業界の取組み」について、専務理事がオンラインで講義を行った。（11月17日）

① 建設廃棄物・四団体合同勉強会 39名

〔本協会・建設廃棄物委員会 主催〕

参加団体 : (一社)東京建設業協会 (一社)東京建物解体協会  
(一社)東京都中小建設業協会  
(一社)東京都産業資源循環協会 建設廃棄物委員会

期 日 : 令和3年10月15日

講 師 : 東京都環境局資源循環推進部産業廃棄物対策課指導担当  
東京都環境局資源循環推進部産業廃棄物対策課審査担当  
ダイヤリフォーム(株)、JIS 原案作成委員  
(一社)東京建物解体協会  
(一社)東京都産業資源循環協会

内 容 : ・電子マニフェストの普及等について  
・廃棄物処理施設等の更新及び交換に係わる手続きについて  
・再生骨材コンクリートの普及拡大を図るための新たな挑戦  
・太陽光パネルの撤去・処分の今後の問題について  
・建設廃棄物業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)化の進捗と課題

場 所 : エッサム神田ホール2号館(千代田区)

② 医療廃棄物排出事業者向けセミナー ～開催なし～

〔本協会・医療廃棄物委員会 主催〕

③ 医療廃棄物適正処理研修会 ～開催なし～

〔本協会/東京都環境局/(公社)東京都医師会 主催〕

④ 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース ～開催なし～

〔本協会 主催〕

〔実施機関 : (公社)全国産業資源循環連合会 実施協力 : 本協会〕

2) 講習会事業(許可申請等に関する講習会)

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬課程、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である(公財)日本産業廃棄物処理振興センターに協力し、新型コロナウイルス感染防止対策として、多くはWeb申込によるオンライン学習の後、会場で試験を受ける方法で実施した。

① 新規許可申請講習会 896名

ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

令和3年 9月	2回	開催	92名
令和3年10月	3回	開催	166名
令和3年11月	2回	開催	113名

	令和4年 1月	2回	開催	112名
	令和4年 2月	1回	開催	57名
	令和4年 3月	3回	開催	167名
イ	産業廃棄物の処分課程			
	令和3年10月	1回	開催	38名
	令和4年 3月	1回	開催	50名
ウ	特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程			
	令和3年10月	1回	開催	50名
	令和4年 2月	1回	開催	51名
エ	特別管理産業廃棄物の処分課程			
	～開催なし～			

② 更新許可申請講習会 1, 239名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

	令和3年 6月	4回	開催	191名
	令和3年 7月	4回	開催	197名
	令和3年 9月	2回	開催	99名
	令和3年10月	3回	開催	185名
	令和3年11月	4回	開催	247名
	令和4年 1月	2回	開催	117名
	令和4年 3月	2回	開催	118名

イ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

	令和3年10月	1回	開催	37名
	令和4年 3月	1回	開催	48名

③ 更新許可申請講習会（講義ビデオ視聴型講習会） 33名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和4年1月26日

イ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

～開催なし～

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 2, 122名

	令和3年 6月	4回	開催	194名
--	---------	----	----	------

令和3年 7月	4回	開催	185名
令和3年 9月	6回	開催	280名
令和3年10月	5回	開催	301名
令和3年11月	4回	開催	241名
令和4年 1月	4回	開催	243名
令和4年 2月	2回	開催	118名
令和4年 3月	6回	開催	365名

⑤ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会（医療関係機関等対象）

令和3年10月	1回	開催	36名
令和4年 2月	1回	開催	41名

⑥ PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習会

令和3年 9月	2回	開催	35名
令和3年10月	1回	開催	45名
令和4年 2月	1回	開催	38名

(3) 相談指導事業

専任相談員を配置して相談指導事業を週3日行った。令和3年度の相談件数は、2,152件であった。

令和3年度の相談実績

I 照会・相談・質問 区分内訳			(2,152件の内訳)		II 照会・相談・質問 者内訳		III 照会・相談・質問 内容内訳	
電話	処理先照会	1,666	排出事業者等	1,827	会員紹介	1,764		
	相談事項	172			法令	154		
	質問事項	307			処理方法	98		
FAX WEB等	処理先照会 相談・質問事項	7	処理業者	89	契約書・管理票	76		
			建設業関係	95	リサイクル関連	4		
			行政機関	45	建設廃棄物	0		
			コンサル	9	許可関係 (講習会関係以外)	27		
			医療機関	36	その他	29		
			一般都民	51				
計		2,152						

## 2. 環境対策事業

### (1) 環境活動

令和2年度に集めたベルマークの集計作業を行った。(6月)

### (2) 環境対策事業

東京都産業労働局の依頼を受け、豚熱対策のための野生イノシシへの経口ワクチンを散布できる土地の提供者を募集した。

(機関誌「とうきょうさんぱい」第369号に掲載)

### (3) 災害廃棄物対策事業

西秋川地区(あきる野市・日の出町・檜原村・奥多摩町)の災害廃棄物処理計画の策定会議に参加した。(7月5日～令和4年3月25日)

## 3. 普及事業

### (1) 普及事業

#### 1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組状況などを、機関誌「とうきょうさんぱい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

#### 2) 図書等の有償頒布

##### 有償頒布図書

マニフェストシステムがよくわかる本	43部
建設廃棄物処理委託契約書	1,343部
建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例	203部

##### 車両表示板作製あっせん受注実績

(令和3年4月をもって終了した。)

	*会社数	受注枚数
マグネット(着脱)式	1社	1組
シート(固定)式	1社	5組
合計	2社	6組

\*会社数は、複数の形式を受注したものを整理した純数

### 3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、(公社)全国産業資源循環連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）」〔(公社)全国産業資源循環連合会 発行〕の販売を行った。

#### 産業廃棄物管理票普及実績

種 類		単 票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	142,700 セット	103,500 セット	246,200 セット
	積替用	24,100 セット	45,500 セット	69,600 セット
建設系廃棄物		305,600 セット	253,000 セット	558,600 セット
合 計				874,400 セット*

\* 対前年度比 91%

#### 電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）	11,400 セット
--------------------------	------------

#### 電子マニフェストに係る説明会 ～開催なし～

〔(公社)全国産業資源循環連合会業務委託「電子マニフェスト運用支援業務」〕

### (2) 機関誌の発行事業

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんぱい」は第368号から第379号まで発行した。

内容は、協会、(公社)全国産業資源循環連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

#### <主な記事>

- ① 第368号 業界別人材確保支援事業  
「環境ビジネス☆インターンシップ&業界研究フェア」を開催
- ② 第369号 就任のご挨拶 東京都環境局／八王子市 関係職員
- ③ 第370号 [第9回定時総会]  
令和2年度事業報告、決算報告
- ④ 第371号 新入会員と協会役員との懇談会
- ⑤ 第372号 [中間処理委員会]

プラスチックのケミカルリサイクルに関する意見交換会を開催

- ⑥ 第373号 写真で振り返るTOKYO2020  
東京オリンピック・パラリンピック大会のまとめ  
～東京都産業資源循環協会のかかわり
- ⑦ 第374号 [全国産業資源循環連合会]  
全産連 プラスチック資源循環法について国に要望
- ⑧ 第375号 [建設廃棄物委員会]  
東京建設業協会・東京建物解体協会・東京都中小建設業協会との四団体合同勉強会を開催
- ⑨ 第376号 新入会員と協会役員との懇談会
- ⑩ 第377号 [安全衛生推進委員会]  
令和3年度 安全衛生標語コンクール入選作品決定
- ⑪ 第378号 令和4年度 東京都予算案発表
- ⑫ 第379号 令和4年度 事業計画および予算 決まる

### (3) 会 員 事 業

#### 1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

#### ①国内処理施設見学研修会 ～開催なし～

#### ②安全衛生研修会

[安全衛生推進委員会 主催]

##### ア 第1回 安全衛生研修会

期 日 : 令和3年10月28日 47名

内 容 : 第一部「コロナ禍における安全管理  
～個人のできる予防策・対策、企業が取り組むべき対策～」

第二部「我が社における安全衛生推進の取組み」

講 師 : 第一部 ㈱リバランス 保健師

第二部 ㈱都市環境エンジニアリング

今年度の安全衛生表彰被表彰事業所の長

場 所 : エッサム神田ホール2号館(千代田区)

##### イ 第2回 安全衛生研修会

期 日 : 令和4年2月2日 53名

内 容 : 第一部「産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について

～併せて労災事故が減少した他業界の取組み事例～

第二部「みんなで学んで労災を防止！

～産業廃棄物処理業の現場から見えること～

講師：第一部 東京労働局

第二部 中央労働災害防止協会

場所：エッサム神田ホール2号館（千代田区）及びオンライン

### ③「事例から学ぶリスク管理」オンラインセミナー

〔収集運搬委員会主催〕

期日：令和3年11月16日

46名

内容：第1部 昨今の事故事例から検証するリスク管理

第2部 同業車輛のドライブレコーダー動画から見る

事故防止・ヒヤリハット研修

講師：第1部 ティー・ビー・ロジスティックス(株)

第2部 (株)ハチオウ

場所：オンライン

## 2) 会員交流・増強事業

① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため例年行ってきた、総会後の懇親会、賀詞交歓会、多摩支部会時の懇親会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

② 会員数の維持・増加を図るため、入会希望者に対して丁寧な説明を行うなど、あらゆる機会を活用して会員数の維持・増加に努めた。

また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を2回（6月9日、11月10日）開催した。

### 会 員 数 の 推 移

	正 会 員	賛助会員	計
令和 2年度末会員数	546	78	624
令和 3年度入会者数	3	7	10
〃 退会者数	8	6	14
令和 3年度末会員数	541	79	620

③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業資源循環連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行った。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。



### 3) 顕彰・表彰事業

令和3年度は、『優良事業所表彰』7社、『功労者表彰』2名、『優良従事者表彰』8名、安全衛生表彰『会長賞表彰』1社を表彰した。

### 4) 人材の確保に向けた採用支援

#### ① 人材確保プロジェクト

5月17日・7月7日・11月18日・3月11日にWebで開催した。

機関誌での波及活動として、プロジェクトメンバー企業に入社した新入社員にインタビューを行い、機関誌（第368号から第375号）に掲載した。

会員企業に行った「人財課題・定着率アンケート」の結果を基に「ドライバー採用支援セミナー」を10月6日にWebで開催した。

#### ② 「業界别人材確保支援事業」（東京しごと財団 業界団体支援事業）

本事業は、平成30年度～31年度に受託した「団体別採用カスパイラルアップ事業」の支援実績がある業界団体を対象とし、東京都が（公財）東京しごと財団と連携して行ったものである。当協会は、中小企業が多様な人材の活用や柔軟な働き方の推進により、新たな人材の確保や定着につなげる更なる取組を支援する「ステップアップコース」を本事業の受託会社であるアデコ㈱（賛助会員）と協力して取り組んだ。

##### ○個別ヒアリング

- ・企業の課題に合わせ、コンサルによる具体的な解決方法等のアドバイス  
訪問企業 16社、 訪問回数 80回

##### ○波及・啓発

- ・好事例集の作成と好事例発表会の開催  
好事例発表会（Web）令和4年3月24日  
好事例集300部配布、機関誌掲載予定（開催概要報告）

### 5) 廃プラスチック国内有効利用実証事業

東京都環境局、（公財）東京都環境公社、太平洋セメント㈱及び当協会とで締結した協定に基づき、令和2年5月から、廃プラスチックを北海道及び大分県のセメント工場で原燃料として利用するための実証事業を行った（令和2年度・3年度の2か年事業）。参加企業を協会が半年ごとに募り実施した。令和3年度は前半5社が参加し、後半途中から6社での参加となり、3月8日の大分工場行きで事業を完了した。

### 6) 電子マニフェスト普及促進事業

東京都環境局、（公財）東京都環境公社、当協会とで令和3年5月に締結した協定に基づき、適正処理及び事務の効率化、排出事業者責任の徹底を進めるために

電子マニフェスト利用促進に向けた普及啓発を行った。

三者の役割は以下のとおりである。

【東京都環境局】事業全体の進捗管理、事業実施のための必要経費の負担等

【公社】講習会等の実施によるアドバイザーの育成、事業実施に係る備品の調達及びアドバイザーへの貸与に係る調整等

【協会】会員への本事業に係る周知、参加事業者の募集及び公社への推薦等

当協会会員企業で産廃エキスパート取得企業114社に5月に募り、募集枠20に対し21社の参加となり、東京都環境局より普及促進アドバイザーとして認定された。

この事業により、電子マニフェストを導入した排出事業者や、導入の検討を始めた排出事業者が増えている。

この事業は官民連携で実施した事業のため、東京都環境局のホームページなどへ掲載することにより、電子マニフェスト導入に向けた機運が高まった。

JWセンターの「産業廃棄物適正処理に係る業種別事例集」でもこの事業が取り上げられた。

## 4. 管 理 運 営

### (1) 総 会 (1回)

第9回定時総会 期 日 : 令和3年 5月27日  
場 所 : エッサム神田ホール2号館 (千代田区)  
議 案 : ①令和2年度事業報告  
②令和2年度決算報告承認の件  
出席者 : 407名 (委任状・議決権行使書を含む)

### (2) 理事会 (定例会6回)

第68回理事会 期 日 : 令和 3年 5月12日  
第69回理事会 期 日 : 令和 3年 7月14日  
第70回理事会 期 日 : 令和 3年10月13日  
第71回理事会 期 日 : 令和 3年12月 8日  
第72回理事会 期 日 : 令和 4年 1月12日  
第73回理事会 期 日 : 令和 4年 3月 9日

### (3) 常任理事会 (3回)

令和 4年 1月12日 | 令和 4年 3月 9日 | 令和 4年 3月22日

#### (4) 協会事務運営

##### 1) 会費の集金事務（自動振替のすすめ）

正会員会費の「預金口座振替制度」は既の実施していたが、協会事務の効率化と請求書送料等通信運搬費の削減のため、原則預金口座からの自動引き落としとすることを令和元年7月の理事会で決定している。8月現在、79%の正会員企業が自動振替となっていた。8月に預金口座振替制度の利用拡大を、収集運搬業の会員54社に10月末日締切にてお願いしたなどの結果、82%まで利用率があがった。

##### 2) 会員への電子メールによる情報提供

情報提供の迅速化、複数回の連絡による周知徹底等のために、電子メールによる情報提供を進めた。

メールアドレスを登録いただいた正会員は約290社（全体の52%）、賛助会員は34社（全体の43%）までになったが、国や東京都、（公社）全国産業資源循環連合会などから急ぎの調査依頼などがあるので、会員の多くの方々のメールアドレスの登録を期待している。

### 5. 委員会・部会活動

#### (1) 総務委員会

11月10日・3月22日に、事業計画や執行に関する基本的事項や横断的事項、協会の財政基盤強化策などについて協議し、調整を行った。

#### (2) 法制度検討委員会

4月28日・8月5日は書面開催、6月23日・9月24日・12月7日は対面で委員会を開催した。

令和3年度の検討テーマを下記2項目とした。

- ① 収集運搬業積替え保管許可の規制緩和について
- ② 今の市場環境が必要とする廃棄物積替え保管施設とは

積替え保管施設についてのアンケート調査票を正会員全社と関東の各県・政令市に9月に発送。会員企業からは71社、自治体からは18県・市より回答があった。

#### (3) 広報委員会

機関誌「とうきょうさんばい」の発刊

- ① 機関誌発刊のため、毎月1回（年12回）委員会を開催した。

（5月～9月：Web会議、10月：対面+Web会議、11月～3月：Web会議）

- ② 記事内容については、法令関係等会員各位へ迅速にお知らせすべき事柄に注力した。
- ③ 協会主催の行事内容については、詳細に伝達した。
- ④ 協会各役員の協会運営への方策活動について伝達した。
- ⑤ 資源循環情報等会員各位の事業について積極的に紹介した。
- ⑥ 会員各位の協力を得て「新入社員インタビュー」の連載を開始した。
- ⑦ 会員読者の誌面への参加を求めた。

#### (4) 安全衛生推進委員会

委員会を6月22日・11月15日・3月15日に開催した。

- ① 安全衛生研修会（10月28日・2月2日）  
[本議案書 P7～ 3.(3)-1)-② 参照]
- ② 安全衛生標語募集を行った。(7月～。2月研修会で表彰。標語ポスター作成)
- ③ 「中災防安全衛生サポート事業 個別支援」を利用した会員企業向けの事業を行った。団体支援では個別支援での会員企業のサポート事業をもとに2月2日の安全衛生研修会で講演を行った。
- ④ 安全衛生活動に顕著な実績を示した1名（安全衛生表彰『会長賞表彰』）を表彰した。(5月)
- ⑤ 協会名入り安全衛生ポスターを会員各社に配布した。(8月)
- ⑥ ヒヤリハット事例を協会機関誌に毎号掲載した。
- ⑦ 当協会の令和3年度労働災害防止計画を定めた。(5月)
- ⑧ 2021年の安全衛生活動の現状調査票を会員企業に送付した。(11月)

#### (5) 収集運搬委員会

- ① 委員会を5月14日・9月14日・2月9日に開催した。
- ② 5月21日に、収集運搬実務担当者(配車・安全)座談会を、オンラインで開催した。

<内容>

- 第1部 ① 白井エコセンターにおける収集運搬業務の管理
- ② 廃棄物収集運搬事業のDX ～未来への可能性～

第2部 「実務担当者による座談会」

テーマ：コロナ対策、配車担当者の悩み、働き方改革

- ③ 7月5日、中間処理委員会との合同委員会を開催した。

<議題>

- ・危険物の取り扱い方
- ・中間処理後の残渣物（リサイクル物）の遠距離輸送のための、運搬の効率化策

・中間処理施設での荷降ろし待ち時間の削減方法

- ④ 9月14日、委員会内にて「ドライバー・作業員の雇用維持について」の意見交換を行った。その内容を機関誌「とうきょうさんばい」第374号へ掲載した。
- ⑤ 11月16日、「事例から学ぶリスク管理」オンラインセミナーを開催した。  
〔本議案書 P8 3.(3)-1)-③ 参照〕

## (6) 中間処理委員会

- ① 6月28日に（一社）日本化学工業協会と今後のケミカルリサイクルのあり方に関する意見交換を行った。プラスチックのリサイクル3手法（MR・CR・ER）の説明やリサイクル率、プラスチックの資源循環、地球温暖化対策に向けた取組について講演いただいた。
- ② 7月5日に収集運搬委員会との合同委員会を開催した。
- ③ 再資源化工場の施設見学を予定していたが、コロナ禍で中止した。
- ④ 11月11日に SDGs 12 及び 17 に関わる事業について㈱イーシス（賛助会員）より講演いただいた。
- ⑤ 破砕・圧縮分科会では、リチウムイオン電池のリサイクルルートの確立については、リサイクル会社と会員企業が直接行っているため、協会は入らないこととなった。5月25日には、京都大学准教授を講師に招き「ごみと SDGs ～この風を逃がさないために～」と題し講演いただいた。（43名参加）
- ⑥ 焼却分科会では、10月8日に各社の取組の動向について情報共有した。専務理事より、感染性廃棄物処理フロー・プラスチック資源循環について講義を受けた。
- ⑦ 中和・脱水分科会では、処理業者の営業向けセミナー「流動性廃棄物のWDSの運用方法と留意点」をWebで令和4年1月24日に開催した。液状廃棄物に特化した事件事例など具体的に講演いただいた。（40名参加）

## (7) 建設廃棄物委員会

- ① 委員会を7月9日・12月21日の2回、10月15日に勉強会を1回開催した。  
・四団体合同勉強会 〔本議案書 P2 1.(2)-1)-① 参照〕
- ② 建設混合廃棄物分科会を2月14日に開催し、第四次産業革命（AI・IoT）がもたらす技術革新や超スマート社会のDX化について説明が行われた。
- ③ 建設汚泥・再生砕石分科会では、4月26日に東京都環境局と再生砕石の普及拡大について意見交換を行った。6月21日・7月9日に東京都への要望事項を検討した。2月15日に東京都のパブリックコメント「東京都建設リサイクル推進計画（改定素案）」に対して、分科会の意見を取りまとめ都市整備局

あてに提出した。

## (8) 医療廃棄物委員会

- ① 委員会を5月18日・7月19日・9月30日・11月22日に開催した。
- ② 8月11日付で医療関係機関等の排出事業者に対してお願いする事項（感染性廃棄物は容器に8割程度収納し、容器個数を増やさない。）をまとめた文書を作成し、8月24日に（公社）東京都医師会に説明した。当協会会員には送付済み。10月18日に（一社）東京都病院協会の会員361件へ同様の文書を送付した。東京都医師会発行の「都医ニュース」令和4年3月号に掲載していただいた。
- ③ 医療廃棄物合同懇談会（東京・神奈川・静岡）の開催はコロナ禍のため中止となった。
- ④ 施設見学会はコロナ禍のため中止した。

## (9) 多摩支部

### ① 多摩支部会・研修会

6月11日に多摩支部幹事会・支部会・講演会・研修会を開催した。支部会では、令和3年度の活動計画の報告と、多摩支部会の副支部長を1名増員とする規約改定の承認を得て副支部長を選出した。（7月14日の理事会で承認済）講演会では、「女性の観点からの安全衛生」と題し講演会を開催した（27名参加）。研修会は、緊急事態宣言中のため行政より書面で行政情報の報告があった。

### ② 施設見学会

11月26日コミュニケーション委員会主催の施設見学会を行った。リサイクル率88%の比留間運送(株)伊奈平工場を視察し、ケミカルリサイクルのための破碎の様子や、遠赤外線を使つての選別など幅広い中間処理工程を見学し、有意義な見学会となった。見学会終了後は、3密にならないよう野外での懇親会を行った。

### ③ 多摩支部幹事会及び適正処理意見交換会

令和4年2月18日に、多摩支部幹事会、多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課との適正処理意見交換会を予定していたが、まん延防止等重点措置が発令中のため中止した。

## (10) 青年部

青年部幹事会はWeb開催幹事会を含めて計11回行った。

### ① 総務・広報委員会

（各事業の受付業務及び会計報告、各事業の記事写真等の広報担当）

- ・青年部員間で部員をよく知り仲間意識を高めるため、月2名程度の部員紹介記事作成を目標に部員紹介インタビューを実施する予定だったが、長くコロナ禍により、今期は年4名のみの実施となった。
- ・内容は（公社）全国産業資源循環連合会青年部協議会インターネット情報『れん楽網』に載せ、部員内で情報共有を図った。

## ② 研修委員会

（経営層だけでなく、全部員にとっても個のスキルアップや魅力ある研修会・勉強会担当）

- ・10月27日に行った青年部幹事会終了後、ウエノテックス(株)担当者をZoom上にお招きし、オンライン研修会を行った。  
当日の様子は機関誌「とうきょうさんぱい」第376号に掲載した。

## ③ コミュニケーション委員会

（青年部間のコミュニケーションを取りやすくする仕掛けを積極的に実施、各事業後の懇親会担当）

- ・11月17日には女性部と合同にてオンライン施設見学会を行った。当日の様子は機関誌「とうきょうさんぱい」第377号に掲載した。また、施設見学会後はオンライン懇親会も行った。

## ④ その他

- ・5月25日に定時総会を開催した。（役員のみ出席、部員は書面にて実施）
- ・今期も賀詞交歓会は中止とした。
- ・（公社）全国産業資源循環連合会青年部協議会・関東ブロック賀詞交歓会は今期も開催中止となった。総会・全国部会長会議はWeb会議にて参加した。

## (11) 女性部

女性部幹事会はWeb開催幹事会を含めて計12回行った。

### ① 営業チーム

- ・11月17日の幹事会後に青年部主催のオンライン施設見学会に参加した。

### ② 総務・経理チーム

- ・9月16日の幹事会後に防災食セミナーを開催した。当日の様子を機関誌「とうきょうさんぱい」第374号に掲載した。

### ③ 経営・経営企画チーム

- ・6月17日に「働く女性のための分子栄養学」についての勉強会を開催した。当日の様子を機関誌「とうきょうさんぱい」第371号に掲載した。
- ・12月16日に協会役員を講師とした勉強会を行った。当日の様子は機関誌「とうきょうさんぱい」第378号に掲載した。
- ・2月17日に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」についてオンライン勉強会を行った。当日の様子は機関誌「とうきょうさん

ばい」第380号に掲載予定。

④ その他

- ・ 11月19日開催関東地域協議会女性部会オンライン意見交換会「2021女性部会のつどい on the web」に参加した。
- ・ ベルマーク回収事業の報告を機関誌「とうきょうさんばい」第377号に掲載した。
- ・ ペットボトルキャップ回収・売却事業の報告を機関誌「とうきょうさんばい」第379号に掲載した。